

第22回 RPA技術者検定® エキスパート 合格率と講評

実施年月：2023年11月

全体合格率 57%

<選択式>

平均点：22点 通過率：75%

<実技式>

実技・問1（必答問題） 平均点：17点

実技・問2 平均点：13点

実技・問3 平均点：11点

【実技式の問題概要】

- 実技・問1 任意の日付（西暦年月日）から元号を判定後、和暦をダイアログ表示し、和暦日付名のフォルダを新規作成する問題
実技・問2 既存シナリオを修正し、エラーが発生した場合には、エラー情報を書き出し、次のデータへスキップさせる問題
実技・問3 指定フォルダに保存されている複数のテキストファイルのデータをExcelファイルへ転記し、名前を付けて保存する問題

【講評】

- 実技・問1 全体的によく出来ていましたが、令和と平成の処理を分岐させるための条件設定に誤りが見受けられました。
「以上」、「以下」、「超過」、「未満」の比較演算子の種類と意味を正しく理解しましょう。
また、シナリオフォルダを起点としたパス設定の仕様で絶対パスを使用しているケースがいくつか見受けられました。
- 実技・問2 例外処理の正常系と異常系に正しくノードを配置する事が出来ていないため、エラー発生時に次のデータに進むことができなかつたり、エラーデータを永遠に繰り返し処理したりというシナリオが見受けられました。
また変数のグループ化の仕様では、グループ化自体は出来ているものの、指定した変数が含まれていないケースが散見されました。
- 実技・問3 データが存在しない場合には、変数に空白を格納するよう指示がありましたが、分岐処理は出来ているのに実装出来ていないケースが散見されました。しっかり問題文を読みましょう。
またフィルタ条件設定では問1と同様に比較演算子の種類と意味を正しく理解しましょう。

【本件に関するお問合せ先】

WinActorアカデミックコミュニティー事務局：winactor_learning@am.nttdata.co.jp

※第22回受検者の方がお問合せをいただく場合は、

受検番号・お名前をメール文内に記載の上お問合せください。